

関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

研究課題	大阪・河内平野の沖積層基底および表層地質の再検討		
研究者	(所属と氏名) 大阪公立大学 伊藤有加		
研究期間	2024年 10 月 ～ 2025 年 9 月	報告日	2025 年 10 月 6 日
研究目的： 本研究では、関西圏地盤情報データベースを用いて、河内平野の表層地質を詳細に解析することで、古大和川流域の埋没流路および埋没段丘の分布を推定することを目的とする。 研究内容と成果： 関西圏地盤情報データベースを用いて、河内平野における表層地質の詳細解析を実施した。平野内の地層の分布を連続的に把握するため、複数の東西方向の地質断面図を作成し、シークエンス層序学的な視点から岩相境界線および地層の解釈線を詳細に描いた。また、既存研究で報告されている年代データや柱状図の情報を加えて統合的な解析を行った。 その結果、現在の大和川から北方の河内平野にかけて、レンズ状の砂層が複数認められた。これらは埋没河川に由来する堆積物と考えられる。これらの分布は、空中写真判読や地形分類図に示される旧大和川およびその支流の流路跡とはやや位置が異なることから、近世以前に存在した古河川流路である可能性が示唆された。 今後は、さらなる詳細解析を進め、上記について検討を進めていく。			
公開資料（論文等）： 十分な研究結果ではないため、公開資料などはない。			

※貸出期間終了後、研究利用報告書（本様式）と研究成果（論文等）を提出してください。

※研究利用報告書は、KG-NET の HP に掲載いたします。